

「2013 年度 アクティブ・スチューデント・プログラム」 選考結果

2013 年7月 25 日
甲南大学経済学会

先だって 6 月 3 日付の告知文書にて募集しました「2013 年度 アクティブ・スチューデント・プログラム」には、計 6 件の研究計画の応募がありました。多数のご応募に感謝いたします。

厳正な選考の結果、以下の2件が「2013 年度 アクティブ・スチューデント・プログラム」にふさわしい研究計画であると判断されましたので、ここに公表いたします。

[研究計画名] なぜ、私たちは醤油を借りなくなったのか？

[チーム名] ヒガシマル

[チーム代表者] 11131100 川田 紳太郎(以下 10 名)

[研究計画名] 甲南大学に TFT を導入するにはどうすればいいのか

[チーム名] 柘植ゼミ TFT 班

[チーム代表者] 11131017 石川 忠佳(以下10名)

〔選考基準ならびに総評〕

選考のための審査にあたって、評価の基準としたのは、おおよそ次の5つです。

- (1) 研究テーマとアプローチならびに期待される成果が明確に述べられていること。
- (2) 研究テーマに関して、明確な問いが設定されていること。
- (3) 研究テーマに関する問いに対して、経済学的・科学的な論証に支えられた主張が行われることが期待されるアプローチが採用されていること。
- (4) 研究計画が、現段階で高い完成度をもっているだけでなく、今後の発展性を期待させるに足るものであること。
- (5) 研究テーマの設定とアプローチに関して、独創性があること。

応募された計 6 件の研究計画は、いずれも意欲的であり、また、研究計画をまとめるに至るまでの地道な学習の積み重ねを伺わせる、たいへん質の高いものでした。これからのみなさんの研究の発展を期待しています。

今回、残念ながら選に漏れることになったチームにつきましては、特に申し出がない限り、二次募集(別紙参照)にも応募があったものとみなし、すでに提出された研究計画書を対象に選考を行います。もちろん、あらためて研究計画書を書き直して提出していただいてもけっこうです。

〔問い合わせ先〕 gakkai@center.konan-u.ac.jp

以上